IWATSU

製品安全データシート

作成日：2009年10月30日
改訂日：2014年04月01日

［ＭＳＤＳ　Ｎｏ．１１－１］

１．製品及び会社情報

製品名　：ｉＪＥＳＴＡ　インクカートリッジ　Ｋ－１Ｊ
会社名　：岩崎通信機株式会社
住所　：東京都杉並区久我山1-7-41
担当部門　：印刷システム事業部
電話番号　：03-5370-5476
FAX番号　：03-5370-5494
緊急時の電話番号　：03-5370-5476
推奨用途及び使用上の制限　：ソルベント系染料インク、ｉＪＥＳＴＡ用

２．危険有害性の要約

〔GHS分類〕

物理化学的危険性
引火性液体　：区分4

健康に対する有害性
急性毒性（経口）　：区分5
急性毒性（経皮）　：区分外
急性毒性（吸入：ガス）　：区分5
急性毒性（吸入：蒸気）　：区分外
急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）　：区分外
皮膚腐食性/刺激性　：区分3
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性　：区分2A
呼吸器感作性　：区分外
皮膚感作性　：区分外
生殖細胞変異原性　：区分1B
発がん性　：区分2
生殖毒性　：区分外
特定標的臓器/全身毒性（単回ばく露）　：区分2
特定標的臓器/全身毒性（反復ばく露）　：区分2
吸引性呼吸器有害性　：区分外

環境に対する有害性
水生環境有害性（急性）　：区分3
水生環境有害性（慢性）　：区分外

上記で記載が無いものは、分類できない、分類対象外

〔GHS ラベル要素〕
絵表示

注意喚起語
危険
危険有害性情報
H227 可燃性液体
H303 飲み込むと有害のおそれ
H316 軽度の皮膚刺激
H319 強い眼刺激
H333 吸入すると有害のおそれ
H340 遺伝性疾患のおそれ
H351 発がんのおそれの疑い
H371 臓器の障害のおそれ
H373 長期にわたる、または反復暴露による臓器の障害のおそれ
H402 水生生物に有害
注意書
［安全対策］
P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
P273 環境への放出を避けること。
P270 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
P202 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
P201 使用前に取扱説明書を入手すること。
P264 取扱後は手、眼をよく洗うこと。
P281 指定された個人用保護具を使用すること。
P210 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。－禁煙。
P260 ガス/ミストを吸入しないこと。
［応急措置］
P370+P378 火災の場合：消火に炭酸ガス、泡、粉末を使用すること。
P304+P312 吸入した場合：気分が悪い時は、医師に連絡すること。
P309+P311 暴露したとき、または気分が悪い時：医師に連絡すること。
P312 気分が悪い時は医師に連絡すること。
P332+P313 皮膚刺激が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。
P305+P351+P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P337+P313 眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。
［保管］
P403+P235 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
［廃棄］
P501 内容、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託し廃棄すること。

〔その他の危険有害性〕
・高温になると引火、燃焼するおそれがある
・飲み込むと急性の有害のおそれがある
・吸入すると急性の有害のおそれがある
・有機溶剤中毒を起こすおそれがある
・重篤な眼への刺激

・遺伝性疾患のおそれがある
・発がんのおそれの疑いがある
・ばく露により臓器の障害が起こるおそれがある
・長期または反復ばく露による臓器の障害がおこるおそれがある。
・水生生物に有害である

３．組成及び成分情報

単一物質・混合物の区分　　　　　：混合物
成分及び含有量

成分名	含有量〔%〕	官報整理番号	CAS No.	備考
エチレングリコールモノブチルエーテルアセテート	60.0～70.0	2-740	112-07-2	
プロピレングリコールメチルエーテルアセテート	10.0～20.0	2-3144	108-65-6	
染料	1.0～10.0	非公開	非公開	
樹脂	10.0～20.0	非公開	非公開	
その他添加剤	1.0～10.0	非公開	非公開	

４．応急措置

吸入した場合
・蒸気、ガス等を大量に吸い込んだ場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移し、暖かく安静にする。呼吸が不規則か、止まっている場合には人工呼吸を行う。嘔吐物は飲み込ませないようにする。直ちに医師の手当てを受けること。

皮膚に付着した場合
・付着物を布にて素早く拭き取る。
・大量の水および石鹸または皮膚用の洗剤を使用して充分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しないこと。
・外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪い時には医師の診断を受けること。
・汚染された衣類をとりのぞくこと。

目に入った場合
・直ちに大量の清浄な流水で 15 分以上洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
・まぶたの裏まで完全に洗うこと。
・直ちに医師に連絡すること。

飲み込んだ場合
・誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。
・嘔吐物は飲み込ませないこと。
・医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

応急措置をする者の保護
・適切な保護具（保護メガネ、防護マスク、手袋等）を着用する。
・換気を行う。

５．火災時の措置

消化剤

・炭酸ガス、泡、粉末、設備的に可能であれば水噴霧も可。

使ってはならない消化剤

・水(棒状水、高圧水)

特有の消火方法、消火を行う者の保護

・適切な保護具（耐熱性着衣等）を着用する。
・可燃性のものを周囲から取り除く。
・指定の消化剤を使用すること。
・高温にさらされる密封容器は水をかけて冷却する。
・消火活動は風上より行う。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

・作業の際には適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等）を着用する。
・周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。
・付近の着火源・高温体及び付近の可燃物を素早く取り除く。(危険物共通)
・着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。(危険物共通)

環境に対する注意事項

・河川への排出等により、環境への影響を起さないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法・機材

・漏出物は、密封できる容器に回収し、安全な場所に移す。
・付着物、廃棄物等は、関係法規に基づいて処置すること。
・衝撃、静電気にて火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。
・乾燥砂、土、その他の不燃性のものに吸収させて回収する。大量の流出には盛土で囲って流出を防止する。

７．取扱い及び保管上の注意

取扱い

・換気の良い場所で取り扱う。
・周辺で火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。
・作業中は、帯電防止型の作業服、靴を使用する。
・工具は火花防止型のものを使用する。
・皮膚、粘膜、または着衣に触れたり、目に入ったりしないよう保護具を着用する。
・取扱い後は手・顔等は良く洗い、休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まない。
・密閉された場所における作業には十分な局所排気装置を付け、適切な保護具を付けて作業すること。
・強酸化剤と混触させないこと。

保管

・日光の直射を避ける
・通風の良いところに保管する。
・火気、熱源から遠ざけて保管する。

８．暴露防止及び保護措置

〔管理濃度、許容濃度〕

成分名	管理濃度 (厚生労働省)	許容濃度（TLV）及び 出展先
エチレングリコールモノブチルエーテルアセテート		TLV：20ppm（TWA）A3 (ACGIH2003)

〔設備対策〕

・屋内作業の場合、作業者が直接暴露されない設備とするか、全体換気装置または、局所排気装置等により作業者がばく露から避けられるような設備にすること。
・腐食性物質に、作業者が直接触れたり、暴露したりしないような配慮をすること。
・取り扱い場所の近くには、高温、発火源となるものが置かれないような設備とすること。

〔保護具〕

呼吸器の保護具
・有機ガス用防毒マスクを着用する。

手の保護具
・有機溶剤又は化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用すること。

目の保護具
・取り扱いには保護メガネを着用すること。

皮膚及び身体の保護
・取り扱う場合には、皮膚を直接曝露されないような衣類を着けること。また、化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

９．物理的及び化学的性質

性状（状態、色）	：黒色液体
臭い	：溶剤臭
粘度	：8.02mPa・s(25℃)
沸点（初留点及び沸騰範囲）	：120℃以上
引火点	：61.5℃
燃焼又は爆発範囲の上限下限	：0.9～13.7%
蒸気圧	：500Pa（20℃）
比重（密度）	：0.99±0.01（20℃）
その他	：特に情報を有していない。

１０．安全性及び反応性

安定性（危険有害反応可能性）
・標準条件では危険な反応はしない。

混触危険物質
・強酸化剤

危険有害な分解生成物
・燃焼などによりＣＯ、低分子モノマーなどの有害ガスが発生する。

その他の危険性情報
・特に情報を有していない。

１１．有害性情報

〔急性毒性〕

・暴露経路　　　　：眼、経皮、経口摂取、蒸気の吸入

成分名	経口(rat)	経皮(rat)	吸入(rat)(ガス)	吸入(rat)(蒸気)	吸入(rat)(ミスト)
エチレングリコールモノブチルエーテルアセテート	LD50 2400mg/kg	LD50 1500mg/kg			
プロピレングリコールモノメチルエーテルアセテート	LD50 8352mg/kg	LD50 ＞5g/kg		LD50 >4350ppm(4h)	

＊RTECS より抜粋

〔皮膚腐食性/刺激性〕
・情報なし
〔眼に対する重篤な損傷・刺激性〕
・情報なし
〔呼吸器感作性又は皮膚感作性〕
・情報なし
〔生殖細胞変異原性〕
・情報なし
〔発がん性〕
・情報なし
〔生殖毒性〕
・情報なし
〔特定標的臓器・全身毒性-単回ばく露〕
・情報なし
〔特定標的臓器・全身毒性-反復ばく露〕
・情報なし
〔吸引性呼吸器有害性〕
・情報なし
〔その他の有害性情報〕
・製品としての安全性試験は行っていないが、誤用すると肝臓、腎臓に影響が出ることがある。
また、皮膚の脱脂を起こすことがある。

１２．環境影響情報

一般注意事項
・漏洩、廃棄等の際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取り扱いに注意する。
特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

生態毒性
(プロピレングリコールモノメチルエーテルアセテート)

魚類	：96hr	LC50：＞ 100mg/L	Oryzias latipes
甲殻類	：48hr	EC50： 370mg/L	Daphnia magna
藻類	：72hr	EC50：>1000mg/L	Selenastrum capricornutum

残留性・分解性
・情報なし
生態蓄積性
・情報なし
土壌中の移動性
・情報なし

１３．廃棄上の注意

残余廃棄物

・廃インク、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。

・容器、機器装置を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。

・排水処理、焼却等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、委託すること。

汚染容器及び包装

・空容器は内容物を完全に除去してから処分する。

・許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約して処理をする。

１４．輸送上の注意

取り扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。

容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。

国連番号　(UN No.)　：非該当

〔国内規制〕

陸上規制情報　：消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従うこと。

海上規制情報　：船舶安全法に定めるところに従うこと。

航空規制情報　：航空法の定めるところに従うこと。

〔国際規制〕

海上規制情報　：IMO/IMDG の規定に従うこと。

航空規制情報　：ICAO/IATA の規定に従うこと。

１５．適用法令

消防法　：危険物　第４類　２石油類　危険等級Ⅲ

海洋汚染防止法　：有害液体物質（Ｙ類物質）（施行令別表第１）

大気汚染防止法　：揮発性有機化合物 法第２条第４項（環境省から都道府県への通達）プロピレングリコールメチルエーテルアセタート (Prolylene glycol monomethyl ether acetate)

労働安全衛生法　：名称等を通知すべき有害物
(法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 別表第 9)
(政令番号　第 312 号「シリカ」)
：危険物・引火性の物
(施行令別表第１第４号)

PRTR 法　:非該当

１６．その他の情報

参考文献

日本塗料工業会編集「原材料物質データベース」

オーム社：溶剤ポケットブック

危険物防災救急便覧

国際化学物質安全カード（ＩＣＳＣ）

原料メーカーMSDS

本データシートは、作成時または改定時において、製品及びその組成に関する最新の情報（危険有害性情報・取扱情報）を集めて作成しておりますが、全ての情報を網羅したものではなく、新たな情報を入手した場合には追加・修正を行い改訂致します。
また、本データシートに記載のデータは、その製品を代表する値であり、保証値ではありません。本製品を当社が認めた材料以外のものと混合、当社が認めた使用以外の特殊な条件で使用する場合には、使用者において安全性の確認を行って下さい。